

(平成 24 年 10 月 5 日 山方地区対象保護者)
 (平成 24 年 10 月 12 日 常滑東小学校保護者)
 (平成 24 年 10 月 26 日 常滑西小学校保護者)

常滑東小学校及び常滑西小学校の学区の見直しに関する説明会資料

1. 目的

住宅地開発と少子化に伴い、常滑東小学校の児童数の急激な増加と常滑西小学校の児童数の減少がおきており、学校間のアンバランスが生じている。この傾向は更に広がることが予測される。

こうしたアンバランスの状況を少しでも緩和し、児童がより良い環境で学校生活が送れるよう学区の見直しなどを行う。

2. 経過

常滑地区小学校は、常滑小学校 1 校で運営していたが、児童数及び学級数が昭和 54 年度には 1,857 人 46 学級とマンモス校になり、55 年度から常滑西小学校と常滑東小学校に分割されて現在に至っている。

分割当時（55 年度）の児童数は、常滑西小学校が 1,024 人 25 学級、常滑東小学校が 727 人 20 学級であった。その後、梶間土地区画整理事業や現在施行中の常滑地区土地区画整理事業（常滑地区ニュータウン整理事業）により、常滑東部地区の人口が増加し、児童数の逆転現象が生じ、更に近年は、少子化の進展と飛香台地区の住宅地分譲の進捗により、差が広がっている。

◆常滑地区小中学校の児童・学級数の推移（※特別支援学級数を含む）

		S54			S55	H元	H10	H20	H21	H22	H23	H24
常滑小	児童数	1,857	常滑西小	児童数	1,024	550	458	422	403	385	360	322
				学級数	25	17	15	15	14	13	14	13
	学級数	46	常滑東小	児童数	727	507	463	533	564	610	616	688
				学級数	20	16	15	20	20	21	20	23

平成 10 年から始まった常滑地区土地区画整理事業は、西地区・東地区を合わせて、計画人口 5,000 人、計画戸数 1,650 戸であるが、平成 24 年 7 月末時点で、飛香台の人口は 1,966 人、世帯数は 658 世帯である。飛香台に住所を有する小学生は、7 月 26 日時点で 124 人であり、小学生が占める割合は 6.3% となっている。また同時点の飛香台の 0 歳から 12 歳の児童数は 597 人であり、1 世帯当たりの児童数は 0.9 人である。

3. 現 状

(1)常滑西小学校・常滑東小学校の児童数・学級数の推移（見込み）

（H24.9月作成）

年度			1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
H24	常西小	児童数	35	58	49	49	66	65		322
		学級数	1	2	2	2	2	2	2	13
	常東小	児童数	119	104	127	124	98	116		688
		学級数	4	3	4	4	3	3	2	23
H25	常西小	児童数	50	35	61	50	51	67		314
		学級数	2	1	2	2	2	2	2	13
	常東小	児童数	142	119	104	126	123	98		712
		学級数	5	4	3	4	4	3	2	25
H26	常西小	児童数	49	50	35	61	50	51		296
		学級数	2	2	1	2	2	2	2	13
	常東小	児童数	136	142	119	104	126	123		750
		学級数	4	5	3	3	4	4	2	25
H27	常西小	児童数	51	49	50	35	61	50		296
		学級数	2	2	2	1	2	2	2	13
	常東小	児童数	171	136	142	119	104	126		798
		学級数	5	4	4	3	3	4	2	25
H28	常西小	児童数	51	51	49	50	35	61		297
		学級数	2	2	2	2	1	2	2	13
	常東小	児童数	192	171	136	142	119	104		864
		学級数	6	5	4	4	3	3	2	27
H29	常西小	児童数	50	51	51	49	50	35		286
		学級数	2	2	2	2	2	1	2	13
	常東小	児童数	165	192	171	136	142	119		925
		学級数	5	6	5	4	4	3	2	29
H30	常西小	児童数	57	50	51	51	49	50		308
		学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
	常東小	児童数	163	165	192	171	136	142		969
		学級数	5	5	5	5	4	4	2	30

※児童数は、平成24年7月26日現在、住民基本台帳に登録されている学校区別人数。ただし24年度は、平成24年度学校基本調査（H24.5.1現在）の数値。

※転入児童の増加は見込んでいない。

※学級数は、1年・2年は1学級35人、3年以上は1学級40人で試算。

(2)常滑西小学校・常滑東小学校の普通教室の状況

①常滑東小学校

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
学 級 数	23	25	25	25	27	29	30
普通教室に転用できる教室数		2			2	2	
内 訳		・北館4F 少人数教室 ・北館4F 少人数教室			・北館4F 更衣室を2 分割	・北館4F 第二図工室 と学習発表 会倉庫を2 分割	以後、転用 できる教室 なし
転用後の普通教室数	23	25	25	25	27	29	29

※転入児童の増加は見込んでいないため、転入児童の増加状況によっては、教室不足になる。

②常滑西小学校

- ・分割前の常滑小学校時代は、学級数が46学級であったので、教室数としてはかなり余裕があるが、校舎自体が老朽化しているので、普通教室として使用するには、大規模な改修が必要になる。
- ・比較的少ない費用で普通教室へ転用可能な教室としては、本館3階の5年ルームと6年ルーム、北館3階の学習室1・2・3の5教室が考えられる。

4. 常滑東小学校の児童数・学級数の推移見込み

現状のまま児童数が推移すると常滑東小学校は、常滑西小学校の3倍の規模の学校になる。今後、常滑東小学校の学校区である飛香台の転入児童を加えると両校の児童数の差は更に広がり、常滑東小学校は児童数1,000人、学級数30学級を超えるマンモス校になることが見込まれる。

飛香台の転入児童の増加を見込んで、常滑東小学校の児童数と学級数を推測すると次のようになる。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
児童数	736	798	870	960	1,045	1,113
学級数	25	27	28	29	31	34

5. 教育委員会が提示した案

常滑市教育委員会は、市内小中学校の通学区域を定めて、通学区域内（学校区）に住所がある学校に就学する「指定学校制」を採用している。

“地域の中に学校がある”との考えから、地域と密着した心の通い合う人づくり、地域に根付いた学校づくりの観点から、ほとんどの学校が、行政区（字）と学校区が同じ

区域になっている。

ところが、常滑地区については、現在、北条区、瀬木区、奥条区、山方区は常滑西小学校区と常滑東小学校区に分かれている。

今回の常滑西小学校と常滑東小学校の学校規模のアンバランスを緩和するための学校区の見直しにあたって、伝統的な祭礼行事や子供会活動などを地域と密着した学校づくりを考慮し、他地区の学校のように、少しでも行政区と学校区が同じになるように検討した。

その結果、次のように学校区見直し案を作成した。

(1)実施時期と実施地区

①平成 25 年 4 月 1 日（平成 25 年度）から

- ・ 常滑東小学校の学校区のうち山方区の白山町・かじま台 2 丁目を常滑西小学校区へ変更する。

②山方区の変更に後、3 年を目途に（平成 28 年 4 月 1 日から）

- ・ 常滑東小学校の学校区のうち奥条区の全地区を常滑西小学校へ変更する。

(2)実施する学年

新 1 年生から新 6 年生まで。ただし、変更年度に限り、新 6 年生については、常滑東小学校を選択できるものとする。この場合、兄弟姉妹が別々の学校にならないように配慮する。

(3)その他

常滑東小学校の学校区の児童について、保護者の意向に基づいて、常滑西小学校を選択できる「特定地域選択制」を導入する。

◎ 見直し案による常滑東小学校と常滑西小学校の児童数・学級数の見込み

[常滑東小学校]

常東小		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
見直し前	児童数	688	712	750	798	864	925	969
	学級数	23	25	25	25	27	29	30
見直し対象地域児童数 (H25～山方、H28～奥条)			148	153	137	301	294	287
対象区域の6年生とその弟・妹			32			38		
飛香台増加見込み児童数			24	48	72	96	120	144
見直し後	児童数		620	645	733	697	751	826
	学級数	23	22	22	24	23	25	26
転用教室数					2			2

[常滑西小学校]

常西小		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
見直し前	児童数	322	314	296	296	297	286	308
	学級数	13	13	13	13	13	13	14
見直し対象地域児童数 (H25～山方、H28～奥条)			148	153	137	301	294	287
対象区域の6年生とその弟・妹			32			38		
見直し後	児童数		430	449	433	560	580	595
	学級数	13	16	18	16	20	20	20
転用教室数			3	2		2		